

『藤野のいまを知りタイガー🐯 妄想会議進行中2022』

- 13:30～ チェックイン：集まった人で簡単な自己紹介
13:45～ 『藤野のいまを知りタイガー🐯 妄想会議進行中2022』
15:15～ 話を聞いて、こんな協力ができる、参加したい、
私もこんなことをしたいと思っている、感想など。
16:00～ 『地域通貨よろづの活用法』
・地域の願い、みんなのやりたいを叶える、よろづの可能性は？
16:40 終了 片付け
17:00 撤収

個人発表***

■池竹さん

- 里山は落葉広葉樹の雑木林、スギやヒノキの人工林は、シカがいるところは草が生えていない
- 長年放置された人工林は暗く、シカの食害を受ける→下草がない→土壌が徐々に流失→土砂災害の危険性増大となる
- 竹林は、地震の時に反って危険。タケノコの発生も減少する
- 竹林整備を進めている。タケノコ掘り、間伐、竹粉の環境整備への利用
- スギやヒノキの間伐。間伐材でスウェーデントーチ。災害時のコンロとして使えたりする

■井上さん

- 森の再生プロジェクトスタートした
- CoToLiの森で2021年スタート、藤野で今春にやる予定
- 気候変動の藤野学から、チーム森守から、森ラボからの流れがあり、それぞれ協力、連携して進めていく
- 草ボーボーなんとかしたい→風の草刈り隊、森の手入れなんとかしたい→大地の再生。ニーズによって作業を分けて地域の中に気軽な活動を広めていきたい
- ふじの里山くらぶは地域の発展を目的に活動。地域のイベントや情報の発信を行っていききたいので、紹介してもよい人は教えてください
- もともとは事業の企画をやっていく組織。地域の課題やニーズを拾って企画していくので、一人でやるより組織の機能を使った方が広げやすい。一緒に地域おこしをしていきましょう。

■田島さん

- 秋山で大地の再生2021年2月から
- トランジションの森部、数年前に関野で手入れby矢野さん
- 色々なところでできたらいいな、自分の手でできることないかな
- 人工林の間伐をしたけど多様性が出ない森（ミーナさんの森）→多様性のある雑木林にしたい→2月から始めた
- 大月に住んでいる藤井さんに教えてもらって、活動を続けている
<https://fujinogaku.net/daichi-saisei/cotoli/>
- 大地の再生＝土の中の水と空気の循環をよくしていく→健康状態に関わっていく
- 大きな重機を使わなくても、小さい道具でできること。毎月やってきた
- 自分の庭とかに応用してくれている
- 坂田まさこさんに来てもらった、今年もしていければ。各場所で連携していきたい

■高濱あゆみさん

- 漆卸し。漆器を使う人をふやしたい。上野原でイベントしている
- ナラ枯れ 漆を探している時に知った
- ナラ枯れ材を使えないか。しのぼらの加藤さんの山で学習中
- 専門家 小林正秀さん 京都
- 1/25 19時から ナラ枯れから山を考える zoom講演

■土屋さん

- ゆずの一年 自然体験活動。ゆずをピックアップしてゆずだけでもいろいろとやる
ことがある
- 去年おもしろいカレンダー（地球歴）を使った地域おこし
- 地球歴は円板状 太陽の周りを地球が回る
- 自分たちの活動をイラスト化
- 今は柚子ゆべしをつくっている
- 柚子だけでも一年いろいろやる
ことがある
- 地球歴のコンテストに出すのがきっかけで
作った
- 藤野ではお茶もやっている お茶も
つくってみようか。いちじくの一年もやろうと
思っている
- カレンダー作る仲間募集

■つなしまくみこさん

- 以前はコタンを日連でやっていた。一昨年
から桂川旅館跡を改装して、コタンで
やっていたことを続けられるかもしれない。
- シェアリビングつなしま 冬至からは
じめた
- シェアリビング、ブックカフェ、フ
リースクール、オーガニックカフェ、竹
細工
- 八ヶ岳に有機断熱のおうちをつくる
ので挑戦したい

■とやまさん

- コロナのステイホームシフト
- ライフスタイルの変化からプライベート
も見つめ直した
- 改善できたことに希望をもてたことを
きっかけに周囲の人たちにノウハウなど
伝え、学び合っている
- 家族のことは外の人に言うものではない
という発想があり、パートナーや性の問
題をオープンに話す場がない
- 多くの人が悩んでいるはずなのに、相
談できない状況があることに気づいた→
改善の余地があるのではないか。デリ
ケートな部分なので、情報が守られる
環境にして、これらの悩みを話し合
える場所を藤野にも設けたい
- 実はみんな悩んでいるので、ぶっ
ちやけてみたら意外と楽だったとい
うのもある
- Hotoliに不定期で場を作るの良
いかなと思っている
- 他にも良い場所やアイデアがあ
ったら教えてほしい

■林さん

- 藤野の交通インフラの問題点について
- よろづで深夜帯の車の送迎依頼があ
ったが、今は少なくなってきた。良
い交流の場であった
- 吉野の原田さん+佐野さん（高
齢シニアとお母さんグループの代
表）
- 問題意識を持って活動中（バス、
市役所、区役所へ相談している）
- 藤野全域で考えた場合、他の視
点での問題点もあるのではないか

- みなさんの話を聞いてみたいと思っている→よろづを使ってお知らせする機会が出てくるかも。具体的な話はその時に

■武笠さん

- おもちゃ、TV番組の企画、エンタメやホビー領域でナンセンス的なものづくりする会社運営（18年目）
- コロナで事務所（渋谷）使わなくなったら、今ものすごく快適になった。自宅で生活している。最新はカードゲーム企画している
- 藤野の中でプロモーション関係の制作ができてしまう
- 地産ガチャ。メーカーから古いガチャ機会を譲ってもらって、地産品をガチャに入れている。声かけしたらシリーズ第10弾までできた。まつばややまなみ温泉にしている
- ネタがあれば教えてほしい。宣伝くらいのもので使ってもらえれば
- 炭焼き部、商品開発課を自分で名乗って楽しくやっている。売れるといいな
- くりえいと（工作教室）。子供たち向けにやっている
- デザイン屋、つくいの木、JAZZ BREWING藤野、薪くらぶ藤野のロゴとか
- キャンペーンや企画から楽しくデザインしていくのが得意

■山田いちろう・かおるさん

- 2021年7月からプレイパーク準備会を作って、月2回活動
- 日本では今400箇所くらいある
- できるだけルールを少なくして子供たちを自由に遊ばせる。30-70名くらい集めて
- 名倉弁天橋の先にあるプライベートな場所を使わせていただいている
- 子供だけでなく親も含めた子育て中心としたコミュニティ作っていききたい
- WEB、Facebookも作っている
- 焚き火や焼き芋、スープ作り、絵本や竹工作など
- 道具や環境を整えて、それを子供たちが自由に使ってもらう。講師を呼んでイベントもやっている
- 藤野の小学校にも声かけて気軽にきてほしい。
- 名倉の森は5人の地主さんの場所
- 遊びながら森の再生をやっていきたい
- 藤野の中に遊び場があちこち点在しているようにしたい
- その場所が遊びながら再生しながら、地域の人たちが繋がっていくといいな

■森川しゅんすけさん、えりさん

- 日連在住
- 森の家づくりプロジェクト
- 藤野にはセルフビルド、DIYできる人がいる
- 大久和で家づくり
- 地域産材 間伐材
- 家づくり見に行っている
- 学び機会をつくりたい
- 3~4月に設計が終わって
- 焼き杉したい
- 教えていただける方、手伝っていただける方募集中

■倉田つよしさん

- ふじの里山くらぶ 気候変動の藤野学 白井先生の提案 対応策、土砂災害対策

- 2019年 台風19号、2020年 コロナで活動できず、2021年 環境大臣賞
- ふじの防災大作戦 藤野 吉野 芝田地区
- 雨量計測ネットワーク、各地点で50mm以上降ったらメンバーで計測している。地点ごとに雨量が違って面白い
- 気になったらWEBサイトにすれば確認できる
<https://fujinogaku.net/rainfall/>

■押切さん

- 江戸末期の小淵村の地図、甲州街道で土砂崩れがあったところの調査
- 沢があった部分が崩れていることがわかった
- 昔の地図と照らし合わせても、沢の上か付近になっている
- 造成の不備と昔の状態がわからない中で施したことが原因なのではと思っている
- いまだにブルーシートが張ってあるので、これがどうなるのか心配
- 駅を降りたところの崩れたところ。昔の人に聞いたら、高速道路を夜間に大きい車が通って揺れる。それで崩れていっているとのこと。
- 昔は水が溢れていたところも、今は出ていない部分があり、それが気になって調査を始めた
- 古い地図を見たいけど、小淵村しか存在しない

■小山みかえさん

- よろづ屋とトランジション藤野で毎年明けに開催してきたもの。一年の計を考えようという目的でディスカッションしたりマイプロジェクトの発表をしていた
- 色々なところで色々な人が活動したりプロジェクトしたりしている
- トランジションがなくても良いのではという話も出ているが、気候変動は終わっていない。もっともっとできることがあると思っている
- 藤野電力、森部の活動、よろづとかの活動は続けつつ、トランジション藤野としての活動も進めていきたい
- 年に5回くらい、相談やアイデア出しの場を設けていきたい。参加したい人いたらメールアドレスください
- トランジション1DAYツアーを続けている、今年もやっていきたい
- 藤野のことを今後も発信していきたい

トークタイム***

■交通インフラ

- 藤野は車なくては暮らせない環境。車がないと活動も継続しない
- なお、都内の一部を除いて同様な現象が起こる
- 法改正を待つのではなく、周囲の人たちが「車送迎できますよ」表示があると良いのでは。よろづステッカーが車に貼ってあれば「送迎できるよ」を意味していた。今は10台くらいある？
- ステッカーは車に貼るより、乗りたい人が貼っておいた方が視認性高い。
- 乗りたい意思表示マーク
- よろづに入っていない人たち、遠慮がちな人たちは助け合いも使えないから、サービスとして仕組み化すべき。自動運転車も入れるだけではだめ
- 藤野の地域活性化交付金で申請したが、乗合タクシーが半公共サービス。自治会で話し合って運行ルートや本数を決めた乗り物なので、それと競合してはよくないという話もある。公共サービスと民間で考えた便利なサービスの両立が難しい。今ちょうど転換期に来ているのではないか。数年、十数年先を見越したサービス構築が必要。

- 集落が点在しているところも巡回型が作れない要因
 - 無料サービスでは継続性が保てない。経済として回す必要あり。よろづは手段となりうるし、デジタル化すると良いのでは。
 - 例えば送迎も、乗りたい人と乗せたい人のマッチングをデジタル手段で容易にできるようにすると良さそう
 - エリアごと、ルートごとのLINEグループとか
- パーマカルチャー
- 15-16歳の子供たちへ自然に触れる暮らしを提供したい
 - 青根小学校を活用する予定。寝泊まりして1年間パーマカルチャー的な生活をして心身の成長を実現したい
 - 命の循環、コミュニティが大切と学んでいる
- まちのデザイン屋
- WEBで容易に作れるものも良いが、まちや人の想いを汲み取って形にしていくことは、より地域らしさが表現できるのでは
- ホームスクーリング
- コロナをきっかけに不登校になっている子供が増えている
 - 進路をどうするかを悩みを、お話会のような場を設けて解消していきたい
- 2/12相模湖交流センターのイベント紹介
- 相模湖在住の女性ハンター。メキシコで革靴作り→帰国後に自身がハンターとなり、命をいただく形で皮製品を提供している
 - 胡桃の木の皮で鞆作れる人も登壇される
- コスト高い電動工具の貸し借り
- 一時的に使うくらいなので、貸し借りできると使い勝手良さそう
 - 一方で草刈機やチェーンソーは貸したくないという気持ちもあり（怪我に繋がりやすい不安から）
 - バッテリーだけ（Makitaとか）の貸し借りも良さそう
 - エコビレッジにある道具は大体が不用品を集めたもの。声かけてみれば意外と集まるのではないか
 - よろづの中でいらなくなった工具を集めるとかも良いのでは
 - 施設を運営している側として、みんなに使ってもらいたい気持ちもあるが、運営する側の負担も考慮しないと持続しない
 - 生協みたいな仕組みとかどうだろうか。駅前ロータリー西側にあるスペースを活用
- 藤野の駅前
- ベイスターズマート閉まって寂しい。地主さんとの対話を重ねてアイデアを出し合っていきたい
 - 森ラボが運営を担うとか？個人レベルのパワーがあるので活動が始まるが、それらをまとめていく機能や役割が必要

以上